

# 一般質問通告一覧

令和元年6月島田市議会定例会  
令和元年6月11日・12日・13日本会議

島 田 市 議 会

◎ 発言順位

(頁)

令和元年6月11日(火)

12番	杉野直樹	議員(一問一答)	-----	1
4番	齊藤和人	議員(一問一答)	-----	2
15番	森伸一	議員(一問一答)	-----	3
7番	藤本善男	議員(一問一答)	-----	4
11番	佐野義晴	議員(一問一答)	-----	5
6番	横山香理	議員(一問一答)	-----	6

令和元年6月12日(水)

5番	伊藤孝	議員(一問一答)	-----	7
17番	清水唯史	議員(一問一答)	-----	8
1番	大関衣世	議員(一問一答)	-----	9
18番	平松吉祝	議員(一問一答)	-----	10
3番	河村晴夫	議員(一問一答)	-----	11
13番	大石節雄	議員(一問一答)	-----	12

令和元年6月13日(木)

10番	桜井洋子	議員(一問一答)	-----	13
16番	山本孝夫	議員(一問一答)	-----	14
2番	大村泰史	議員(一問一答)	-----	15

## 1. 12番 杉野直樹 議員 (一問一答)

### 1. 当市における外国人労働者の受け入れ体制について

今年4月に出入国管理法が改正されたことによって、当市にも外国人労働者がこれまで以上に転入してくる可能性がある。外国人も当市に転入すれば市民であり、今後、市においても、外国人に対応できる市民サービスを拡充していく必要があると考えられることから、以下伺う。

- (1) 当市への転入者について、昨年度は何パーセントが外国人であったか。
- (2) 外国人転入者はどこの国籍が多いのか。
- (3) 当市の外国人労働者数は今後どのように推移していくと予測しているか。
- (4) 外国人の転入手続きで何か課題に感じていることはあるか。

### 2. 公共の施設や設備の将来的なあり方について

公共の施設や設備については、人口減少社会において今後必要なもの、必要でないものの精査、また、老朽化するものの更新など計画的に整備していく必要がある。このことについては、島田市公共施設等総合管理計画を策定以降、公共施設をどのようにマネジメントしていくか具体的な計画の策定が必要とされている。具体的な計画を策定することは、全ての市民にとって利便性が向上するわけではないため、慎重に進めていく必要があると考えられることから市の方針を伺う。

- (1) 公共施設の統廃合を計画的に進めるためには、どのような手法が適切であると考えているか。
- (2) 統廃合が伴う公共施設整備について、いち早く整備を進めていかなければならない施設は何か。
- (3) 老朽化する公共的な設備についても計画的に更新または廃止を決定し整備を進めていく必要があるが、例えば水道設備については老朽化していく設備をどこまで把握して計画的に整備できているか。

## 2. 4番 齊藤和人 議員 (一問一答)

### 1. 島田市新庁舎整備基本計画(案)について

今年3月26日付で島田市新庁舎整備基本計画(案)が発表された。その後、パブリックコメントの募集を経て島田市新庁舎等整備基本計画審議会の最終協議が行われ、5月30日に提言が出された。7月までに設計者が選定され、今年度中に基本設計が完了する予定である。そこで、以下質問する。

- (1) 新庁舎に導入される機能について伺う。
- (2) 配置計画について伺う。
- (3) 各階の構成について伺う。
- (4) 令和5年5月開庁の予定であるが、今後のスケジュールを伺う。

### 2. 下水道事業、浄化槽整備について

下水道の工事は平成30年度に本通七丁目の一部まで整備が進められてきたが、東側への整備は一旦終了し、現在は、若松町で行われている。今後は向島町から稲荷町にかけての西側の整備に拡大されていくようである。そこで、下水道事業及び浄化槽による下水処理について、以下質問する。

- (1) 下水道事業の進捗状況について伺う。
- (2) 単独浄化槽及び合併浄化槽並びに下水道利用者の戸数の状況を伺う。
- (3) 空き家の浄化槽の点検状況とその対策を伺う。
- (4) 今後、合併浄化槽の普及が主たる事業になると思われるが、その対策と計画について伺う。

### 3. 15番 森 伸 一 議員 ( 一問一答 )

#### 1. 市内に住む外国人に対する市の対応について

当市には、平成30年12月31日現在で1,258人の外国人が住んでいる。今年4月から出入国管理法が改正され、外国人関連のニュースもよく耳にする。そこで、市の対応はいかがか、以下伺う。

- (1) 当市に住む外国人人口の将来予測はいかがか。また、どのような課題があると考えているか。
- (2) 16歳未満の外国人の子供が108人いるが、子供たちへの対応はどうなっているか。
- (3) 島田市地域防災計画の中で、外国人への対策はどうなっているか。

#### 2. 市民参加と協働のシステムづくりについて

私は、以前から市民参加や協働のまちづくりについての質問を行ってきた。今までの質問に対する答弁を事例に、協働のまちづくりの方策について考えてみたい。そこで、以下伺う。

- (1) 今年は島田大祭の年である。平成28年市議会11月定例会で島田大祭のあり方について、「検討委員会の設置を」という私の質問に対して、「大祭関係者の方から第三者を入れることに理解を得られなかった。今後、市民代表というような形だけでなく、観光学や地域の祭りに詳しい有識者にアドバイザーとして入っていただく方法も考えたい。」という答弁であったが、どうなったか。
- (2) 蓬莱橋周辺整備の中で、何回か文学碑の設置場所について質問した。平成30年市議会6月定例会では、「平成30年度のミズベリング協議会に提案する。文学碑の説明看板設置については前向きに考える。」との答弁であったが、どうなったか。
- (3) しまだ市民活動センターには約100団体が登録している。センターは、協働のまちづくりを推進するために市民が主体的にまちづくりにかかわる拠点として位置づけられているが、具体的にはどのような活動をしているのか。また、センターに行政としてはどのような活動を期待しているか。

#### 4. 7番 藤本善男 議員 (一問一答)

##### 1. 会計年度任用職員制度施行等への対応について

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行により、地方公務員の臨時、非常勤職員について、令和2年4月から特別職の任用及び臨時的任用の適性を確保するとともに、会計年度任用職員制度が新たに設けられることとなった。

法改正への当市の対応は、民間事業者への包括業務委託が先行する形で議論されているが、改めて法改正の趣旨を振り返るとともに、会計年度任用職員制度への対応について、以下伺う。

##### (1) 地方公務員法及び地方自治法改正への対応について

- ① 令和2年4月の法施行に向け、どのような方針と計画で準備を進めているか。
- ② 臨時、非常勤職員に該当する、市の臨時職員、嘱託員の人数及び勤務状況はどうか。
- ③ 地方公務員法及び地方自治法の改正に対する、臨時職員、嘱託員の勤務条件等の課題は何か。
- ④ 行政経営戦略や定員管理計画等について、計画の見直しはどのように考えているか。

##### (2) 会計年度任用職員制度への対応について

- ① 会計年度任用職員制度導入に対し、検討が必要な事項は何か。
- ② 会計年度任用職員の任用手続きはどのように考えているか。
- ③ 会計年度任用職員の給与、期末手当はどのように定めるか。
- ④ 会計年度任用職員の人事評価はどのように実施するか。
- ⑤ 正規職員と新たに導入される会計年度任用職員の業務上の区分けはどのように考えているか。
- ⑥ 制度導入に対し、対象者との面談や労使協議は進んでいるか。

##### 2. 市内小・中学校の再編について

市内小・中学校の再編は、島田市教育環境適正化検討委員会から出された提言書に基づき、総合教育会議や教育委員会定例会において議論が行われ、昨年末からの地域における地区意見交換会では、保護者や地域住民からさまざまな意見が出されている。

本年度はこれまで出された意見を踏まえ、学校再編計画策定委員会が島田市立小中学校再編計画(案)を策定し、地元説明会も開催されているが、参加者の受け止め方はさまざまであり、方針決定までには時間を要することが予想される。

市民が納得できる学校再編を進め、よりよい教育環境を充実させるため、以下伺う。

- (1) 各地区で開催された意見交換会において出された意見は、その後の計画に反映できたか。
- (2) 意見交換会の参加者数や開催回数は適切であったか。
- (3) 島田市立小中学校再編計画(案)は、どのような経過を経て策定されたか。また、再編計画の決定時期はいつごろとなるか。

## 5. 11 番 佐野義晴 議員 (一問一答)

### 1. 令和に始まる庁舎建て替えと小・中学校の統廃合の進め方について

本市において、まちづくりの拠点となる施設を私なりに4つ挙げるならば、JR島田駅、市役所庁舎、市民病院、そして学校だと考える。

なお、島田駅は公共交通の拠点施設、市役所庁舎と市民病院は、それぞれ市民サービスの集約施設であって、学校は将来を担う人づくりの場であると同時に地域を構成する核施設と考える。

今回は、そのうち、新庁舎の建て替えと小・中学校の統廃合の課題やまちづくりについて考え方を伺う。

#### (1) 市役所新庁舎の建て替えについて

① 島田市新庁舎整備基本計画策定に向けて、ワークショップやパブリックコメント等が行われたと承知するが、それらの取り組みの評価はどうか。また、そこに出された市民の声を計画にどのように生かすのか。

② 事業を進める上での課題は何か。

③ 庁舎の建て替えが、これからのまちづくりでどのような役割を担うと考えているか。また、どのように生かしていくか。

(2) 小・中学校の再編や統廃合がまちづくり及び地域づくりへ与える影響をどのように考えているか。また、これから進める各個別計画にどのように生かしていくか。

## 6. 6番 横山香理 議員 (一問一答)

### 1. 第2回目の初倉地区タクシー事業実証実験について

前回は、平成29年11月1日から平成30年1月31日までの3カ月間、初倉の5自治会において、利用者の利便性の向上を図ることを目的に、バスにかわる交通手段として、タクシーを使った実証実験を行った。今回で2回目として、同じく初倉の5自治会において平成30年11月1日から平成31年2月28日までの4カ月間行った。今回の結果を踏まえ、今後の公共交通のあり方をどのように考えるか、以下質問する。

- (1) 実証実験の概要を伺う。
- (2) 再び初倉で実証実験を行った理由を伺う。
- (3) 今回の実証実験で前回と違うところは何か伺う。

### 2. 当市の放課後児童クラブの現状について

今年度、当市では824人が新1年生となった。最近は多くの家庭で夫婦共働きが当然のようになっている。こうした状況において安心して預けられる当市の放課後児童クラブは、保護者にとってありがたいものではないかと思われる。新1年生を迎え、当市の放課後児童クラブの現状について、以下質問する。

- (1) 今年度の待機児童はいるか。いるならば何人か伺う。
- (2) 現在、当市の放課後児童クラブからは、どのような課題や問題が挙げられているか伺う。



## 7. 5番 伊藤 孝 議員 (一問一答)

### 1. 当市のキャッシュレス決済について

本年は、ラグビーワールドカップ2019日本大会が開催され、また、来年は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるなど、開港10周年を迎える富士山静岡空港を使って、キャッシュレス決済が普及している外国からの観光客が多く訪れる環境になっているが、当市においては外貨を獲得できる状況にないように思えるため、以下質問する。

- (1) 当市のキャッシュレス決済の普及率はどのような状況か。
- (2) 普及の必要性をどのように考えているのか。

### 2. マイキープラットフォームについて

平成29年度から、マイナンバーカードを活用したマイキープラットフォーム構想が総務省の旗振りで推進されているが、ふるさと寄附金のように、いち早く取り組んだ自治体が成功すると考える。市は、マイキープラットフォームをどのようなものと考え取り組んでいくのか、以下質問する。

- (1) マイキープラットフォームをどのようなものと考えているのか。
- (2) マイナンバーカードの普及率はどのような状況か。
- (3) 当市の現在までの取り組みはどのようなになっているのか。
- (4) 今後の取り組みはどのようなものを計画しているのか。

## 8. 17番 清水唯史 議員 (一問一答)

### 1. 包括業務委託への取り組みについて

平成31年2月7日の全員協議会において、行政経営部人事課から事務補助等の包括業務委託についての説明が行われた。その後、2月25日の平成31年市議会2月定例会において、平成31年度当初予算として、各事業における包括業務委託の予算及び平成32年度から平成34年度までの3カ年の債務負担行為で限度額26億1,739万3,000円の事務補助事業等包括業務委託が提出された。審議の結果、議会の総意により修正予算が議会側から提案され修正された。改めて今後、市が行おうとする包括的な業務委託の取り組みの考えについて、以下質問する。

- (1) 市の事務事業等の民間委託の実施に対する指針はあるか伺う。
- (2) 包括業務委託を導入する目的を伺う。
- (3) 包括業務委託を実施する前提として、民間委託の対象業務及び形態をどのように区分するのか伺う。
- (4) 民間委託の可能性を検討する場合の判断根拠を伺う。
- (5) 民間委託等に向けた事務事業の検証をどのように行うのか伺う。
- (6) 包括業務委託の仕様作成のための方法を伺う。
- (7) 包括業務委託を実施した場合、実施後の成果検証をどのように実施するのか伺う。

### 2. 安全安心な教育現場のための取り組みについて

5月に入り、全国各地で警戒警報や避難指示が発令されるほどの大雨が降ったり、気温が30度を超えるような真夏日を記録したりするなどの異常気象が続いている。今年の猛暑を教訓に小・中学校へのエアコンの整備工事も進んでいる。しかし、児童・生徒たちには環境整備だけでなく、市内における異常気象に対してはその状況を正確かつ迅速に把握し、その対応を的確に指示、指導しなければ、安全安心な教育環境の提供とは言えない。そこで直近の気象への対応について、以下質問する。

- (1) 市における5月21日の大雨の状況を伺う。
- (2) 大雨の状況から市民に対して情報提供はどのようにされたか伺う。
- (3) 5月21日の小・中学校の登校状況はどうであったか伺う。
- (4) 5月25日、6月1日に実施された各小学校の運動会での暑さ対策を伺う。
- (5) 整備工事が進む小・中学校でのエアコンの使用基準を伺う。

## 9. 1番 大関衣世 議員 (一問一答)

### 1. 予防接種の接種率向上への取り組み及びその助成等について

最近、誤った情報により定期予防接種を受けない現状を伝えた報道があった。予防接種の正しい情報を理解し、安心して接種してもらうことが必要と考える。また、先日、小児がんの子を持つ母親から「治療により免疫力が低下するため定期予防接種の再接種をすることになり、その費用が高額になる。再接種に対する助成があれば助かる」という話を聞いた。子育て世代の負担軽減のために接種の助成等も必要と考える。そして、健康寿命の延伸についてもワクチンで予防できる病気は、接種して予防することが望ましいとされていることから接種率向上を目指し、以下質問する。

- (1) 予防接種の知識の周知方法を伺う。
- (2) 予防接種の接種率とその向上への取り組みを伺う。
- (3) 予防接種の助成等を伺う。

### 2. 市内にある文化資源を生かすまちづくりについて

市内には多くの文化資源があり、それらを活用した計画が立てられようとしている。時とともに進化しながらも、それぞれの地域に潜在する文化資源を可能な限り守り活用していくことも必要と考え、以下質問する。

- (1) 指定文化財及びそれ以外の文化資源について伺う。
- (2) 島田市文化芸術推進計画の内容を伺う。

## 10. 18番 平松吉祝 議員 (一問一答)

### 1. 「野球のまち島田、復活」で島田市を元気に

島田球場は、昭和55年に「野球のまち」として位置づけるために建設された。県の中央部に位置する島田球場は、JR島田駅から近いことと駐車場が十分に確保できるという利便性により、多くの試合の開催や観客を動員し、島田球場ここにありと内外に誇れるものである。その効果として野球競技人口の増加、シニアから少年野球に至る競技団体や団員数の増加、島田商業高校の甲子園出場等多くの功績がある。40年が経過し、現在は山岸ロジスターズも活躍している。先般も元プロ野球選手の石毛宏典氏による、「野球のまち島田、復活」と題した講演会が行われた。元気のない当市に今再び活力を与え、大いに貢献してくれる「野球のまち島田、復活」に期待するものは大変大きいものがあり、市民の機運も高まっている。ただ、残念なことは島田球場の老朽化とメンテナンスの遅れである。過去、再三にわたり島田球場や周辺整備について質問してきたが、費用対効果と財源調達等の課題からという答弁で論外視されている。しかしながら、市民の思いは着々と前進している。その思いはおそらくとどまることはないだろう。

これまでの市の検討したことや取り組みと同時に「野球のまち島田、復活」について、以下質問する。

- (1) 島田球場の拡幅や電光掲示板設置は「野球のまち島田、復活」には欠かせないアイテムである。費用の試算、財源調達方法の研究は当然行っていると思うがいかがか伺う。
- (2) 市全域を巻き込んで、(仮称)「野球のまち島田復活委員会」を立ち上げ、市の活性化を図ってはいかがか伺う。
- (3) 山岸ロジスターズへの地域愛に満ちた応援活動は、市の活性化につながる。市をあげての協力体制を確立しているか伺う。
- (4) 島田球場に隣接する旧静岡地方法務局島田出張所の跡地利活用も市の活性化に貢献することが期待される。市の検討はいかがか伺う。
- (5) 「野球のまち島田、復活」を願う市民が多く、その機運は高まるばかりである。市民に元気を提供できる施策として、市長の英断を期待するがいかがか伺う。

## 11. 3番 河村晴夫 議員 (一問一答)

### 1. 当市の安全安心への対策について

今年5月8日に大津市で、散歩中の保育園児の列に車が突っ込み2歳児2人が死亡し、2人が意識不明という悲惨な事故が起きた。この事故のために、これからの人生を一瞬で奪われた被害者の親族にとってはやり切れない事態が生じている。また、高齢者の運転する車の事故により死亡事故も多発している。当市でも安全安心を確保するために、今後どのような対策をしていくのか伺う。

#### (1) 交通安全対策について

- ① 幼稚園、保育所及び地域型保育所での散歩経路の安全は確保できているのか。
- ② 小学生、中学生の登下校の通学路の安全は確保できているのか。
- ③ 高校生、一般の自転車走行の安全は確保できているのか。

#### (2) 自動車運転について

- ① 市内の交通事故の発生件数と高齢者のかかわりはどうか。
- ② 最近の高齢者の免許返納件数はどのように推移しているのか。
- ③ 免許返納後の対応はどうなっているのか。
- ④ ゴールド免許の割合は把握しているか。
- ⑤ 高齢者の免許更新の手続きはどうなっているのか。

### 2. 島田市ビジネススクール「嶋田塾」について

島田市ビジネススクール「嶋田塾」について、今年で2回目の開催となる。市内に事業所を持つ経営者やその後継者、市内で起業を目指す人が対象ということでの募集だが、今後どのようにしていくのか伺う。

- (1) 昨年度の結果はどのように評価しているのか。
- (2) 島田市ビジネススクール「嶋田塾」を今後どのようにしていくのか。
- (3) 今年の応募者は何人か。

### 3. 休日救急当番医について

前回の一般質問でも確認したが、休日救急当番医について、当市では市民病院内で休日急患診療所を開設し、その当番医は当日の新聞に掲載されている。しかし、当番薬局は掲載されていない。このため、以下質問する。

- (1) 休日急患診療所で診察を受けた患者は、現状ではどのように薬を確保しているのか。
- (2) 当番薬局は掲載しないのか。

## 12. 13番 大石 節雄 議員 (一問一答)

### 1. 過疎地域対策について

昭和45年以来4次にわたり議員立法により過疎地域緊急対策措置法のもと過疎対策は取り組まれてきており、一定の成果はあるものと思う。しかし、過疎地域では、著しい人口減少と高齢化の進展、農林業の衰退、維持が危ぶまれる集落の発生、身近な生活交通の不足、地域医療の危機などのさまざまな問題が山積している。一方、過疎地域は、国民全体の安全安心な生活を支える重要な公益的機能を有しており、過疎地域の住民の命と暮らしを守る実効性ある対策を講じていくことが必要であると言われている。当市においても、平成の合併により川根地域という過疎地域を含む市となった。今までの対策を総括しながら、今後の過疎地域自立促進計画について、以下質問する。

(1) 次期過疎計画策定スケジュールはどうなっているか。

- ① 今後の策定に当たって住民の意見はどのような形で反映されるか。
- ② 現計画の中で未実行の事業についての対応はどうか。
- ③ 現計画ではソフト面での対応のため、基金が積み立てられている。その活用方法はどうか。
- ④ 過疎地域や辺地地域に対する市の考えを伺う。

(2) 過疎地域の医療体制について

- ① 診療所等の1次医療は充足されていると考えるか。
- ② 新たな診療所の開設計画はあるのか。

### 2. 当市の社会教育の現状について

戦後73年が過ぎ敗戦のどん底から先人の努力により日本は素晴らしい経済発展を遂げ、現在の豊かな暮らしがあるものと思うが、ただ、経済優先のみで発展してきたとは思われない。そこには、人と人とを繋ぐこと、地域の文化を継承すること、地域の活性化のためのコミュニティー組織を結成し活動することなどに対応してきた社会教育があったものと考えられる。しかし、現状を見ると既存の社会教育関係団体等は組織の解散縮小など寂しい状況にある。そこで、当市が目指す社会教育のあり方について、以下質問する。

- (1) 当市の社会教育についての考え方を伺う。
- (2) 当市の社会教育の課題は何か。
- (3) 当市の社会教育の具体的な活動はどのようなものがあるか。
- (4) 市内の社会教育関係団体の現状はどうか。
- (5) 今後の社会教育関連の取り組みについて伺う。

### 13. 10番 桜井洋子 議員 (一問一答)

#### 1. 保育の充実について

働きながら安心して子育てができるためには、認可保育園と放課後児童クラブを充実させ待機児童の解消を図ることが重要である。ところが国は、規制を緩和させ企業主導型保育や認可外保育を推進し、待機児童の解消を置き去りにして、消費税10%増税とセットにした幼児教育・保育の無償化に舵を切っている。また、放課後児童クラブでは人手不足を理由に、職員配置の基準を緩和し、1クラス2人以上から1人体制でも可能にする方向が打ち出されている。そのような中、保育施策を充実させる市の取り組みが一層重要になってきている。以下質問する。

##### (1) 保育所の保育について

- ① 市内の保育所の入所状況と待機児童数はどうなっているか。
- ② 待機児童対策はどうか。
- ③ 10月から幼児教育・保育の無償化が始まるが、無償化の対象となる施設等について伺う。
- ④ 無償化というが、保育所においては、これまで公定価格に含まれていた3歳児以上の副食費が実費徴収となり、保護者負担となる。低所得世帯への負担が重くなると考えられるが、軽減対策はどうか。
- ⑤ 保育の無償化にかかる費用は、私立保育所には国から2分の1の補助が出るのに対し、公立保育所は全額市の負担となっている。コスト削減と称して公立保育所の民営化に拍車をかけるのではないかと懸念されるが、公的保育の重要性は高い。  
ア 公立保育所(第一保育園、第三保育園)の存続について伺う。  
イ 現在2カ所で働く臨時の保育士、調理員等は職員の半数近くを占める。来年度からの任用について、非正規職員は会計年度任用職員に移行するのか。

##### (2) 放課後児童クラブについて

- ① 市内21カ所の放課後児童クラブの入所状況と待機児童数はどうなっているか。
- ② 待機児童対策は今後どうしていくのか。
- ③ 国は、放課後児童クラブの資格を持つ指導員を2人以上から1人でも可能にする基準の引き下げを行うと聞いている。子どもの命と安全、安心できる生活の場を補償するために基準を引き下げるべきではないと考えるがどうか。
- ④ 公設公営の4カ所の指導員は、会計年度任用職員に移行するのか。

## 14. 16番 山本孝夫 議員 (一問一答)

### 1. 茶産業の現状と将来について

当市は島田市緑茶化計画と銘打ってシティプロモーションを行っている。お茶という農産物、そして、その関連産業が地域の代表する産業となっていることは周知のとおりである。

しかしながら、私が議員となった6年前にはすでに茶産業の低迷が地域の課題となり、現在に至っている。今年5月15日の静岡新聞によると、今年一番茶相場が生産量、価格とも低くなると報道され、特に茶農家の経営がさらに悪化することが懸念されている。これらのことを踏まえ、以下質問する。

- (1) 新聞報道に対し、市としてはどのように捉えているか。
- (2) 特に、今年は茶相場が悪いと言われているが、緊急の対策は何か考えているか。
- (3) これまでにとった対策はどのようなものがあったか。
- (4) 第2次島田市総合計画の中で農地保全が記述され、また、次世代へつなげる生産体制を築くとも記述されている。茶相場の低迷が続いている中で、農地の保全が保たれ新しい生産体制が築かれていくと思うか。
- (5) 島田市緑茶化計画のシティプロモーションで茶産業へ何か好影響があったか。
- (6) 当市の茶産業について将来ビジョンはあるのか。あればそのビジョンを伺う。

### 2. 国際交流事業の今後について

近年、当市は2度の合併を行い、また、これまでの歴史的経過から友好都市が多く、さまざまな国際交流が行われている。交流事業を行うことを否定するつもりはないが、人口10万人に満たない地方自治体にしてはいささか多いように思われる。当市がこれからの歩みの中で友好都市交流をどのように続けていくのか、以下質問する。

- (1) これまでの交流事業の評価を伺う。
- (2) これまでの交流事業の問題点と改善点があれば伺う。
- (3) これからの交流事業について、現状を維持していくのか、または拡大していくのか縮小していくのか見通しを伺う。



## 15. 2番 大村泰史 議員 (一問一答)

### 1. 自然災害対策について

平成も終わり令和を迎えたが、平成の時代には雲仙普賢岳噴火、阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、風水害等々さまざまな災害が発生しており、令和になり大涌谷の噴火警報がレベル2に変更された。異常気象による想定外の事態も発生している状況下、当市の災害対策の検証を踏まえて、以下質問する。

- (1) 災害対策本部と社会福祉協議会が設置する災害ボランティアセンターの設置条件は何か。
- (2) 当市の地域特性、実情に応じた災害発生予想は、地震、豪雨、洪水、崖崩れ、土石流等においてどのように想定されているか。
- (3) 過去の大規模災害の教訓を生かすために市はどのような取り組みをされたか。
- (4) 大規模災害発生時の県との役割分担についてはどのように取り決められているか。
- (5) 災害時の防災協定など、他の自治体、団体との締結状況はどうか。
- (6) 災害ボランティアの受け入れについて、当市の取り組みはどうか。

### 2. 高齢者の居場所確保への取り組みについて

少子高齢化が進む状況において、地域で生き生きと活動する場所の提供や環境整備を支援することが高齢者の健康寿命を延ばすことになると思う。今後、団塊の世代が高齢化の時期を迎えるなど、高齢者施策の推進は極めて重要である。「地域で社会活動をしたい、生きがいを見つけない」というような気持ちを持っている元気なシニア世代に、そうした出番をつくることを実現するため、シニアパワーの活用施策について、以下質問する。

- (1) シニア世代を活用することによる地域活動の活性化について伺う。
- (2) 老人クラブが減少している原因は何と考えるか。
- (3) 高齢者にとっての居場所はどうかあるべきか伺う。